

福島県相馬郡

飯舘村 

飯舘村は、福島県阿武隈山系北部の高原に開けた豊かな自然に恵まれた美しい村です。

総面積230.13キロ平方メートルの約75%を山林が占めた地形は比較的なだらかで、北に真野川、中央に新田川と飯樋川、南部に比曾川が流れその流域に耕地が開かれ集落を形成しています。

年平均気温は約10度、年間降水量1,300mm前後で高原地帯独特の冷涼な気候にあります。

2010年10月には「日本でもっとも美しい村」連合への加盟を果たしました。



2014.5.20 飯舘村 手前の田んぼは草が生い茂っている



地理：東京駅から福島駅まで、新幹線で約1時間半、距離 270km ほど
福島駅から飯舘村まで車で一時間の位置

東日本大震災

2011年3月11日、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所のメルトダウンによる放射能飛散の被害により、事故から1カ月あまりを経た4月22日、懸命に被災者を受け入れていた飯舘村は、突然、計画的避難区域に指定され、5月末には全村避難に至りました。放射線量の高さゆえに、6,000人あまりの村民は、丁寧に誠実に暮らしを紡いできた美しい村からの避難を余儀なくされたのです。

2015年の村民の避難状況

2015年12月1日現在、6,739人の村民のうち、県内避難者数6,226人、県外避難者数512人、飯舘村内居住者数52人（未避難者13人を含む）、不明者数1人。

県内9か所（福島市、伊達市、相馬市、国見町）の仮設住宅では、高齢者を中心に970人が生活しています。



2014年 除染の様子、地表は削られている。集めた汚染土の最終処分場は決まっておらず、村内の収集場所に汚染袋がぎっしりと詰め込まれている。



旧明治小仮設住宅



まていとほ
真の手（両方揃った手）が語源。
「手間ひまを惜みず」「丁寧に」
「心をこめて」「つつましく」という意味で使われる方言

いいたてミュージアム 2015 巡回展

お問い合わせ

いいたてまでの会 事務局

iitate-madei.jp

〒960-8042 福島県福島市荒町 4-7

TEL: 070-5622-4982

Mail: iiatemadei@gmail.com

いいたてミュージアム勉強会

2/17 (水) 18:00 - 20:00

「ともに考える、福島、浜松」

今回の勉強会では「ともに考える、福島、浜松」をテーマに、東日本大震災から5年目の飯舘村の現状、村民の思いを菅野宗夫さんをお招きしてお聞きします。また、展示会場のひとつであるのヴァ公民館を運営するNPO法人クリエイティブサポートレッツメンバーからは、2015年11月に飯舘村を訪れて感じたこと、浜松で伝えたいことをご報告いただきます。

会場 のヴァ公民館

参加無料・申込不要

出演 菅野 宗夫

報告 認定 NPO 法人クリエイティブサポートレッツ



菅野 宗夫

1951年生まれ。畜大卒業後農業自営。

飯舘村農業委員会会長

震災前より「山のこだわりや」として都会の

消費者に大地の恵みを届ける。

2016年は「黎明期を拓く元年」と位置づけてチャレンジ中。

巡回展会場のお問合せ

鴨江アートセンター

〒432-8024 静岡県浜松市中区鴨江町 1 番地

tel: 053-458-5360

mail: k.a.c@kamoeartcenter.org

HP: www.kamoeartcenter.org

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ

〒432-8061 静岡県浜松市西区入野町8923-4

tel: 053-440-3176

mail: lets-arsnova@nifty.com

HP: http://cslets.net/